

 **ごあいさつ**

7月梅雨空が続いていますが、6月末にプール開きをしましたが、お日様にお目にかかれず、梅雨明けを今か今かと待ちながら、傘をさし長靴はいて日々せせらぎ遊歩道にてかけています。また玄関先のミニトマトの収穫も楽しんでます。早いもので令和元年も折り返しの7月、気候の変動で体調管理が難しい時期ですが、早めの対応で回復をはかりましょう。

ルームは、20日前から夏休みになった幼稚園生で賑やかな利用になります。異年齢での遊びや生活の中で、子どもは見て学ぶことが多く育ちの力になります。この夏も休息と水分補給に留意し元気に過ごしていきましょう。

**家事も子育ても冷静に**

なかなか難しいことではありますが、「毎日ちらかしっぱなしのおもちゃ」気づくたびに「いつも遊んでも片付けない！」と叱っていませんか。家での叱り方で大切なことは「いつも」は言い過ぎで、片付ける日もあるのでは？ここで改めて考えてみましょう。いつもではなく、半分は片付ける、ママと一緒に元の場所に戻す日もあるのでは、自分の正しさを強調するために、不確実な「いつも」という言葉を付け加えていると「この前は少し片付けたのに」という反発が子どもの中に芽生えます。感情に任せて事実でないことを言っていたと心で思うことが大事です。特に子どもを叱る際に難しいこととして「事実と思い込みを切り離す」ことです。子どもが何か報告しなかったことを「隠し事をした！」と思い込むと怒りたくなる。だが、客観的な事実は「親が知らないことがあった」に過ぎないので「今度はお話してね・お話しようね！」と意見したほうがお互いに気持ちの上で楽になります。自分の失敗談を思い出すと、ランドセルの中からくしゃくしゃになった学校のお知らせが出てきた時「大事なものだから見せない！」ととがめたことがありました。よく話を聞くと、お家と関係のないお知らせだったので見せなかったとのこと。「大事なものを見せなかった」というのは思い込みにすぎなかったのです。「不確実さを排除して事実を見る」「思い込みをしない」を常に意識し家事も子育ても仕事も冷静な目を失わないようにしたいものです。 代表・伊東 二美江

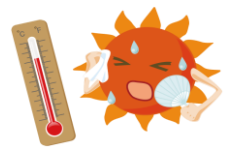
**乳幼児の熱中症サインに気づいて**

今夏は気温は平均並みだが、降水量が多いと予想され、湿度が高くなる可能性あり

気温や湿度が上がり、熱中症の危険性が増す季節になりました。特に子どもは、体表面積が小さく暑さの影響を受けやすいため、水分摂取や休憩のタイミングに注意して、見守る必要性があります。熱中症は、高温多湿の環境に適應できず、体にこもった熱を発散できなかったり、水分が不足したりして、頭痛やめまい、吐き気などの症状がおこります。子どもは、体温調節機能が未熟で、汗や尿で水分が多く出ていく上、幼児だと「喉が渴いた・疲れた」等と伝えられなかったり、遊びに夢中になったりする場合がありますので注意が必要です。熱中症は予防が第一。大人が声をかけて、30分に1回程度子どもの様子を見てこまめな対応で予防が出来ます。水分補給の1回あたりの目安は、50～100cc水やお茶などを2～3口飲むことです。

<予防のポイント>

- (1)こまめな水分補給と涼しい場所での休息 (2)帽子の着用 (3)食事をしっかりとる
- (4)入浴して汗をかくなどし徐々に暑さに体を慣らす (5)熱がこもりにくい服装を心がける



 **毎週火曜日のお弁当や調達品のランチ風景**

6月からランチを月・木・金曜日(カレーの日)の提供となり、火曜日はママが作るか調達するお弁当持参の日となりました。何時も同じランチを楽しんで食べている子どもたち、お友だちの分まで頂くことはないのですが、お友だちのお弁当が気に入り、今度はチーズ入れてねとママにおねだり、色とりどりのお弁当や調達品が並んで楽しい時間です。比較的ゆったりとした時間が過ごせるのもなかなか良いものです。どうぞ火曜日に利用し、離乳食や子育てのこと、たくさんお話ししませんか。お待ちしております。

 **お知らせ**

- ◆6月利用者さん向けに実施したミニバザー、献品とお買い物ありがとうございました。売り上げは、子どもが楽しむイベントのために使用します。ご協力に感謝いたします。次回は秋以降に計画しています。
- ◆8月の夏休みは、10日(土)～18日(日)までとなります。19日(月)からランチも含めて通常オープンです。
- ◆9月12日(木)敬老の日のイベントで、お隣の介護施設「らいふ武蔵新城」さんから「音楽バンド・マハナブリース」の演奏に招待されました。ルームとして手作り品のプレゼント(ティッシュケース=ポケット付き)を夏の間を作り、子どもたちから差し上げたいと考えています。